

令和3年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	4	議席 番号	9	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
1	ローラースポーツエリアの設置について	<p>私は平成28年6月定例会で、ローラースポーツについて一般質問をした。そのときはまだ東京オリンピックにおいて、これからスケートボードが追加競技として提案される段階であった。その後採用が決まり、東京オリンピックで新競技となったスケートボードであるが、種目のストリートでは男子で金メダル、女子で金メダルと銅メダル、またパークでは女子で金メダルと銀メダルと日本人選手が大活躍し素晴らしい結果をもたらしたことはまだ記憶に新しく、日本発祥のスポーツではないのにその結果は衝撃的であった。オリンピックで採用されるまでは若者の遊びの一つのように捉えられていたが、東京オリンピックの正式種目に決まってからは愛好家も増えてきている。そのような中、全国的にスケートボードや他のローラースポーツを行うことができる施設が官民ともに非常に少ないという現状がある。</p> <p>(1) 平成28年6月定例会の一般質問ではローラースポーツとしてお聞きしたが、東京オリンピックを終えて改めてスケートボード、ローラースポーツについて市の認識を伺う。</p> <p>① 東京オリンピック後、スケートボードを愛好する、または競技と捉えて行う若者が一段と増えてきているようである。また、東京オリンピックを見て選手に憧れを持った子どもや、新たに始めた子どもたちも多数いると聞く。東京オリンピックのスケートボードの選手の年齢を見るとほとんどが10代であり、日本のメダリストのうち女子は全て10代で、最年少は12歳である。このことについて社会的な面と教育的な面、様々な面からどのように考えるか伺う。</p> <p>② 東京オリンピックにより完全に社会的認知がされたスケートボードであるが、歴史的に新しいスポーツであり日本において環境はほとんど整備されていない。そのような中で現状として公共施設、公園及び駐車場などでスケートボードなどローラースポーツを禁止していることについて伺う。</p> <p>(2) 東京オリンピックにより正式なスポーツとしても捉えられるようになったスケートボードをはじめ、ローラースポーツについて今後必要と考える対応について伺う。</p> <p>① スケートボードを含めローラースポーツは全般的にスポーツとしての競技性はあるがその生い立ちから、圧倒的に若者を引きつける遊技性やイベント性も兼ね備えている。他自治体ではほとんど行っていないスケートボードなどの競技会やイベントの奨励や誘致は、多くの若者の関心を集め、人口減少が進む中で若者の流出を少しでも食い止めることや、市外から若者を集める一つの策としても有効であると考えがいかがか。</p>				市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長

発言 順序	4	議席 番号	9	氏名	植 松 健 一 議員	2 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
		<p>② ローラースポーツの中には舗装等がされていない土の上のコースで行えるものもある。それらはアウトドア・レジャーとしても捉えることができ、今でも朝霧高原内で自然を満喫しながらのアウトドア・アクティビティとして行われ、既に朝霧観光の一助となっているものもある。ローラースポーツを観光の面からも推奨してはどうかと考えるがいかがか。</p> <p>③ 市内には、スケートボードを始めローラースポーツの愛好者、競技者を増やすための活動をしている団体もある。市民スポーツの一競技として、また、アクティビティとして市民が楽しめる環境(ローラーパークまたはローラースポーツエリア)を整備してはどうかと考えるがいかがか。</p>				